

—瀬戸内国際芸術祭若手芸術家育成プログラム—

「令和6年度 瀬戸内アート塾」(7/17~26)取材のご案内

瀬戸内国際芸術祭実行委員会(会長:池田豊人 香川県知事)では、若手芸術家の育成と県内への定着を目的として、昨年初めて開催し好評を得た「瀬戸内アート塾」を、内容を充実させて今年も開催いたします。

瀬戸内国際芸術祭の北川フラム総合ディレクターをはじめ、地域型芸術祭で活躍しているアーティスト4名(豊福亮氏、村山悟郎氏、中崎透氏、榎原泰介氏)を迎え、瀬戸内国際芸術祭の会場となっている島々を巡るフィールドワークや、実践的な作品制作手法等を学ぶ講義・ワークショップ等を実施しますので、ご取材ください。

開催期間 | 2024年7月17日(水)~7月26日(金) 計10日間(昨年8日間)

参加人数 | 19名(香川県居住2名、出身3名含む)

※参加者の主な居住地・出身地:東京、京都、中国等

参加条件 | 39歳以下で、香川県内において制作活動を行っている又は今後希望する方

【応募想定】芸術活動(美術・音楽・舞台・建築・デザイン・食)又は芸術作品の成立にかかわる活動を行っている方(始めようとする方)で、瀬戸内国際芸術祭をはじめとした地域型芸術祭が掲げる趣旨を理解し協働する意思のある方

プログラム内容 | ディレクター講義、フィールドワーク、ワークショップ等
※別紙スケジュール参照

講師 | 全5名(昨年4名)

北川フラム・豊福亮・村山悟郎(別紙チラシ記載のとおり)

【追加決定】※チラシ未掲載

○中崎透:1976年茨城生まれ。美術家。武蔵野美術大学大学院造形研究科博士後期課程満期単位取得退学。現在、茨城県水戸市を拠点に活動。近年の主な展覧会に「越後妻有 大地の芸術祭 2022」(新潟)、個展「FICTION TRAVELER」水戸芸術館現代美術ギャラリー(茨城)など。

○榎原泰介:1977年広島県生まれ。美術家。武蔵野美術大学大学院美術専攻油絵コース修了。2020年より東京湾の干潟で自然と芸術の関係性を考えるプロジェクト「Art and Tidal Flats」を主宰。内房総アートフェス2024参加。

取材申込 | 取材は全日程受け付けていますが、一部調整をさせていただく場合があります。

取材を希望される場合は、取材希望日時・希望内容・人数(撮影の有無)を記載して、メールアドレス artclass@setouchi-artfest.jp までお送りください。

※参考に、昨年度のプログラム実施の様子を動画で掲載しています。

